

# 漁海況月報

平成30年8月22日  
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

## 1 海況

### ○ 黒潮流路

8月15日の人工衛星画像によると、黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖を離岸した後、北緯30度30分付近まで南下し、八丈島付近を北上して房総半島沖を流れている。

### ○ 渥美外海の状況

熊野灘から遠州灘沖に暖水が東向きに流入している。

7月31日～8月1日の調査では、渥美外海の水深200m層の水温偏差は+1.8℃となっていた(図2)。

### ○ 予想

串本一浦上の潮位差は安定して小さいこと、黒潮の南端位置は32度以南となっていること、数値モデルによる計算が可能な1～2カ月後もA型流路となる結果がでていることから、最短でも10月頃まではA型流路が継続する。このため、渥美外海には暖水が波及し、高温傾向で推移すると予測される。なお、海上保安庁の解析では、黒潮の南下緯度が南であるほど大蛇行は長期化する傾向があり、今回の最南下緯度は過去2番目に南に位置していることから、大蛇行は長期化すると予測している。

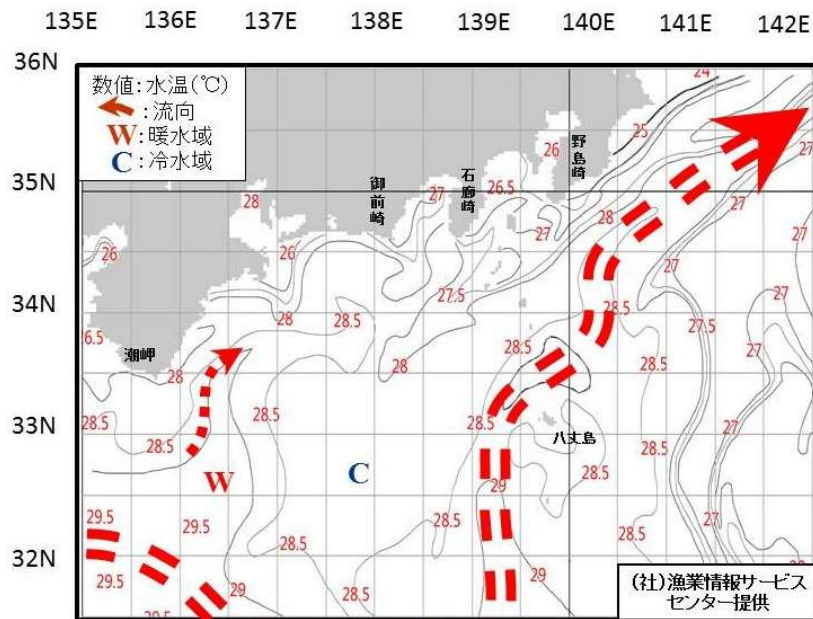


図1 海況の現況[2018年8月15日]

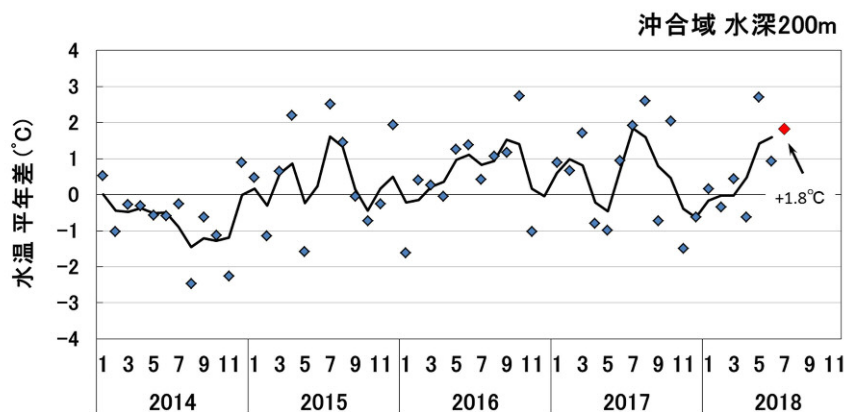


図2 沖合域の水温(A11点、A19点の水深200m層の平均)

## 2 イワシ類

### (1) シラス

7月は中旬まで出漁できなかったが、下旬になると外海で漁場が形成され、8月に入っても断続的に操業が続いている(図3)。

7月の出漁日数(10統以上)は8日で、漁獲量は66トンとここ数年同様の低水準であった。8月の漁獲量は10日までで179トンで、昨年を上回っている(表6)。

8月上旬の体長組成をみると、21mm以下の小さな個体もおり(図4)、補給が続いていると推測される。

7月の渥美外海のカタクチイワシ卵採集数は、154個と平年よりも多かったが、8月の卵採集数は0粒で昨年、平年よりも少なかった(表4)。伊勢湾の7月の卵採集数は、360粒で平年の約4分の1と少ない状況が継続している(表5)。7月24、25日に行ったボンゴネット調査でも、カタクチイワシ仔魚の採集数は3地点のうち、湾口部に近い調査点(P17)のみで26尾採集されただけで、昨年同様低調であった。

夏季のシラス獲量は黒潮内側域からの輸送よりも相対的に内湾の産卵水準の影響が大きくなる。伊勢湾のカタクチイワシ成魚の漁獲量は低水準で、卵の採集数も少ないが、餌料環境の指標となる湾口部の沈殿量(A1、6~8月の平均値)は昨年よりも多く、生き残りの条件は昨年よりも良いと推測され、低水準であるが漁獲は現在の水準で継続すると予測される。

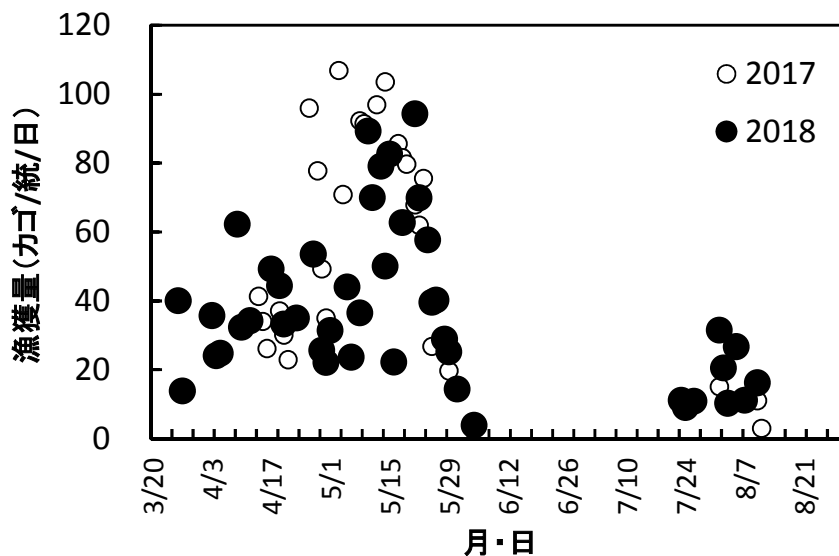


図3 しらす船びき網 CPUE

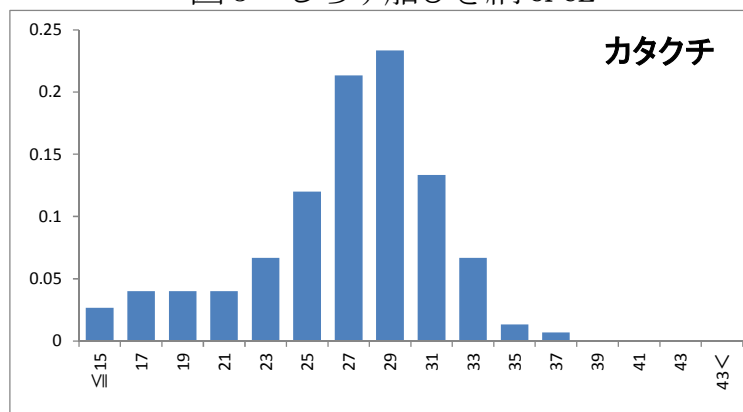


図4 シラス体長組成 (8月上旬)

## (2) マイワシ

7月のCPUEの平均は上旬が12トン、中旬が13トン、下旬が14トンと増加しており、8月上旬は19トンと高水準となっている(図5)。

7月の漁獲量は5,570トンとなり、昨年の約90%、平年の約550%。8月の漁獲量は、12日までに2,320トンに達しており、すでに平年を上回っている(表8)。

7月の主な漁場は伊勢湾では空港沖から野間沖、三河湾では知多半島沿岸と福江沖、中電前で、8月は漁場が伊勢湾南西部に集中するようになり、他の場所では操業が減少している。

体長組成は、7月上旬が90~95mm、中下旬は110~115mmであり、8月上旬は115~120mmとなっている(表1)。なお、7月上旬は台風に伴う強風のため、操業が伊勢湾北部に限られていたため、大型個体の割合が小さくなっている。

例年、8月から9月にかけては小型の群れが漁獲に加入してくる時期に当たるため、8月中旬は現在の群れ、下旬以降は小型の群れも漁獲対象となり、漁獲量は現在の高い水準で推移すると予測される。

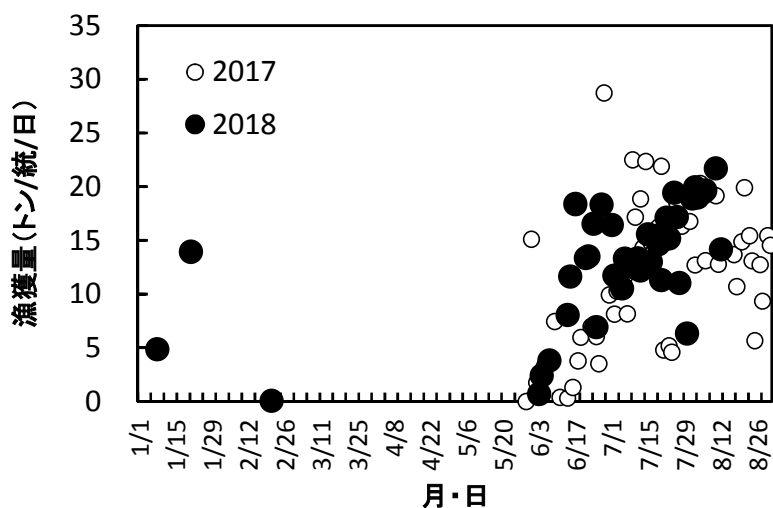


図5 船びき網 CPUE(マイワシ)

表1 マイワシ体長組成

マイワシ	2018						
体長範囲(mm)	6月上	6月中	6月下	7月上	7月中	7月下	8月上
~40							
40~45							
45~50							
50~55	1						
55~60	23						
60~65	62						
65~70	65	3					
70~75	25	11	4	1			
75~80	12	43	7				
80~85	7	48	21	5	6		
85~90	5	38	28	39	12		2
90~95		29	32	91	22	1	4
95~100		11	50	47	16		6
100~105			38	10	31	6	5
105~110			31	6	63	41	18
110~115			32	1	90	64	63
115~120			6		35	50	100
120~125			1		20	22	61
125~130					4	13	35
130~135					1	1	3
135~140			1				1
140~145						1	
145~150							2
150~155							

### (3) カタクチイワシ

7月のCPUEは1トン程度で推移し、8月上旬は0.5トン程度に低下している(図6)。

7月の漁獲量は427トンで、昨年約15%、平年の約10%。8月の漁獲量は12日までに7トンで平年よりもかなり少ない(表7)。

7月の主な漁場はマイワシと同様であったが、混獲程度であり、伊勢湾の知多半島南部で比較的多く漁獲されていた。

体長組成は、7月上中旬が70~75mm、下旬以降わずかに混獲される魚体では80~85mmであった(表2)。

生殖腺熟度指数(KG)は、8cm以上の大型個体で、7月上旬が1.6、中旬が0.9、下旬が0.9で、4以上の個体はいなかった。8月上旬は0となっている。

現在のぱっち網の漁獲主体はマイワシとなっており、しらす漁も外海主体に低水準で推移しているため、秋に新しい群れが加入してくるまでは漁獲量は現在の低い水準で推移すると予測される。

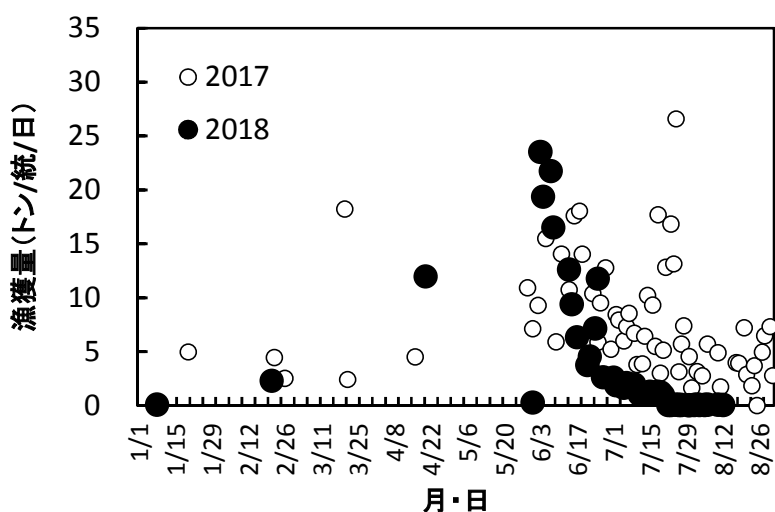


図6 しらす船びき網CPUE(カタクチ)

表2 カタクチイワシ体長組成

カタクチ	2018						
体長範囲(mm)	6月上	6月中	6月下	7月上	7月中	7月下	8月上
~30							
30~35							
35~40							
40~45							
45~50							
50~55	2	5	1				
55~60	12	2	2	7	1		
60~65	38	11	10	2	5		
65~70	<b>54</b>	14	29	14	14		
70~75	28	39	52	35	36		
75~80	14	30	58	26	19		
80~85	17	9	39	18	5	2	1
85~90	10	1	7	2	1		
90~95	1	2	2	1			
95~100	1						
100~105	1						
105~110							
110~115							
115~120							
120~125							
125~130							

### 3 イカナゴ

7月20日に外海のデヤマ海域において、イカナゴ夏眠魚の調査（空釣り）を実施した。

今回の調査では、イカナゴは採集されなかった(表3)。

調査海域の底層水温は24.3℃で、昨年(21℃)、一昨年(20℃)より高くなっていた。遠州灘沖は広く暖水におおわれており、この影響でデヤマ付近も高水温となっていると推測される。

次回の調査は、8月下旬を予定。

表3 夏眠魚採集数

	イカナゴ夏眠魚 採集尾数 (尾/km)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	9	13	60		76	46	183		12
2008	77	45	49			121		68	30
2009		435	438				740		501
2010		792	3,306				1,333		1,589
2011		964	2,910				425		518
2012	230	378		1,721			1,869		1,324
2013	462	1,268	2,597						1,690
2014	146	1,670	(659)* <sup>1</sup>	110			49		116
2015	119* <sup>2</sup>	61	132		47	1	4	7	5
2016	0.5	86* <sup>3</sup>	41	51			3	5	3
2017	2.3	15	12	6	0.9			0.5	0.5
<b>2018</b>	<b>0</b>	<b>0.5</b>	<b>1.1</b>	<b>0</b>					

\* 1 2014年6月は三重水研の調査結果

\* 2 2015年4月の調査日は、5月1日

\* 3 2016年5月9日の採集では28尾、5月24日の採集では86尾。

表4 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計)

(個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5	148	0	5	1,129
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0					497
平均(過去5年)	0	0	188	289	134	139	117	33	53	42	1	1	1,106

表5 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計)

(個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2013	-	-	-	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	-	8,324
2014	-	-	-	10	502	221	733	164	88	315	291	-	2,324
2015	-	-	-	1	191	160	30	1,291	61	132	768	-	2,634
2016	-	-	-	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	-	5,309
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360					-	863
平均(過去5年)	-	-	-	2	414	577	1,298	967	232	141	242	-	3,693

表6 シラス類漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	134	1,683	1,871	636	7,127
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	179					3,225
10年平均	3	0	11	564	1,611	840	548	444	513	874	738	292	6,437

\*8月は10日まで

表7 カタクチイワシ漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	5,944	6,352	1,705	2,481	351	504	1,146	19,434
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,044
2018	6	1	0	0.6	26	2,795	427	7					3,263
10年平均	86	50	19	224	751	2,462	4,340	3,695	2,363	1,190	1,157	713	17,051

\*8月は12日まで

表8 マイワシ漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	574	11,123
2016	74	0	0	0	44	551	1,255	5,255	4,216	3,994	1,379	672	17,440
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	55	6	0	1.8	0	2,605	5,570	2,320					10,558
10年平均	15	9	0	0	23	222	1,004	1,759	1,593	1,338	664	336	6,963

\*8月は12日まで